

平成29年度第2回「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」 「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：平成29年5月16日（水）午後6時30分～7時45分
会場：すみだリバーサイドホール

次第

1 開会

2 議題

議 題	資料No.
(1) 「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」の 中間見直しについて	資料1～3
(2) その他	

3 次回開催予定

4 閉会

配布資料

- 資料1** 「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」見直しに向けた課題整理
- 資料2** 「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」（平成30年3月改定（案））
- 資料3** 平成28・29年度保育施設今後の整備予定について
- 資料4** 平成29年度墨田区子ども・子育て会議等スケジュール（修正案）

出席者（敬称略）

○委員

- 大豆生田 啓友（玉川大学大学院教育学研究科教授）
野原 健治（興望館館長）
高嶋 景子（田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科教授）
西島 由美（にしじま小児科院長）
服部 榮（社会福祉法人雲柱社理事長）
押田 剛（主任児童委員）
佐瀬 一夫（中学校PTA連合会会長）
内田 淳（青少年委員協議会委員）
根里 美佐（縦中地区青少年育成委員会委員長）

小菅 崇行（小菅株式会社代表取締役会長）
佐藤まり子（ムーミン保育室施設長）
青塚 史子（八広認定こども園長）
西村 均（豎川中学校）
渡邊 圭三（東吾孺小学校長）
陳 晨（公募）
関 舞衣子（公募）
荘司 美幸（公募）
佐藤 摩耶子（公募）
小林 佳香（公募）
熱田 美帆（公募）
貞松 成（株式会社 global bridge 代表取締役）
賀川 祐二（NPO 法人病児保育を作る会代表理事）

＜欠席委員＞

長田 朋久（横川さくら保育園長）
杉浦 浄澄（江東学園幼稚園副園長）
高橋 朋宏（文花子育てひろば施設長）
相澤 しのぶ（立花吾孺の森小学校 PTA 会長）
中村 信幸（連合墨田地区協議会議長）
本多 美絵子（両国幼稚園副園長）
近藤 ゆき江（八広幼稚園長）

＜傍聴＞

0名

○部課長出席者

石井 秀和（子ども・子育て支援部長）、後藤 隆宏（教育員会事務局次長）、北村 淳子（保健衛生担当部長）、浮田 康宏（子育て支援課長）、高橋 義之（子ども政策課長）、金子 明（子ども施設課長）、村田 里美（子育て支援総合センター館長）

○事務局出席者（検討チーム含む）

高橋、岩佐、酒井、正岡

○事務局（株名豊）

糸魚川

2 議題

(1)「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて

会長	<p>平成 29 年度第 2 回「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」「墨田区子ども・子育て会議」を開催いたします。</p> <p>議題は、「墨田区次世代育成支援行動計画及び墨田区子ども・子育て支援事業計画」の中間の見直しについてです。事務局からご提案をお願いします。</p>
事務局	(資料 1～3 について説明)
副会長	<p>会長からは、学齢部会だけで話をするということではなく、乳幼児の課題と学童は関連しているの、公募委員をはじめ関心のある方にも参加してほしいということでした。入っていただくことが非常に大事だと思います。当事者である児童館、それから保護者の視点、将来のことを考えてどのように墨田区の子どもたちを育てるのかといった議論をしていきたいと思います。今日の時間では、どのような形であり方検討を進めるのか、それぞれのお考えを伺いたいと思います。事務局のほうから、このあり方検討会を持つ背景についても説明があります。それを受けつつ、何回程度会議をもって、そしてゴールをどこにするのかといった概略が決まればよいと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。学齢部会については終了後ということになります。</p> <p>今説明いただいた議題(1)について、ご意見ご質問をいただければと思います。</p>
委員	<p>48 ページの 22 番、「国際理解教育の推進」ということですが、東京オリンピックに向けての様々なノイズが入ってきます。「外国人講師を派遣する日数を増やし、国際理解の充実を図りました」という、素晴らしい取り組みをされていると思います。せっかく日数を増やしたのであれば、何日だったものを何日にしましたといった数字を入れたほうが、よりアピールできるのではないかと思います。</p> <p>60 ページの 48 番、「こんにちは赤ちゃん事業」で、「訪問率 100%を目標に」と目標が掲げられていますが、実績のほうに訪問率が記載されていません。おそらくこれは 3,000 人くらいに母子手帳を交付して、その中で訪問できたのがこの人数だと思います。里帰りや出産される等、様々な理由で訪問率 100%というところは達成できていないと思います。100%という目標を掲げているのであれば、達成率を入れるのがよいと思います。</p> <p>54 番の「乳児健康診査」と、55 番の「1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査」の検診ですが、こちらについては 100%目標といったことが書いてありません。これは虐待防止という視点からも、3か月検診、1歳6か月検診は重要だといわれています。事業目標のところ、100%という数字が入っていると、とても安心できると思います。</p>
会長	ありがとうございます。事務局からいかがでしょうか。
事務局	貴重なご意見をありがとうございます。ご意見をいただいた部分について、各主管課に見直しをしてもらい、事業目標について検討させていただきます。
委員	ありがとうございます。
委員	<p>母子手帳を交付してもお子さんが産まれるとは限りませんので、100%にはなりません。それから、検診ですが 100%を目指すというよりも、3か月検診を受診されていないお子さんの確認をとることが大事だと思います。存在を確認するという事業が必要なのではないかと思います。</p> <p>また、6か月、9か月に関しては、保育園に入っている方もたくさんいらっしゃるの、</p>

	これは 100%を目指さなくてもよいと現場としては思います。
会長	今の点に関して、どのように表現したらよいというアドバイスはありますか。
委員	来なかった人に対するアクションは行っていると思うので、それを明記したほうがよいのではないかと思います。
会長	他にはいかがでしょうか。
委員	目標値を出すときに、「x x. x %」という目標はあまりないです。端数は切ったらよいのではないかと思います。
事務局	ただいま、健診の受診者の追跡調査のお話がありました。これは平成 26 年度から、要保護児童対策地域協議会が事務局になり、保健センター等からリストを挙げていただき、最終確認をしております。迅速にその存在を確認するということが必要なので、課題として目指していきたいと思います。この中に表現できるかどうかについては検討させていただきます。 なお、未受診者で挙がってきた方については、全員確認ができております。
事務局	目標値についてのご指摘がございましたが、26 ページの「評価指標」についての部分でよろしいでしょうか。確かにそのような形になっておりますので、後半の 2 年間の中では、小数点以下を切り捨てるという形に変更するというところでよろしいでしょうか。
会長	その件についてご意見はございませんか。では、そういった表記にさせていただきます。
委員	82 ページの 102 番「子育て出前相談」についてです。区立幼稚園で出前相談を行っています。「各園 2 週に 1 回の割合で」と書いてありますが、毎週行っております。そのように訂正をお願いします。また、3 歳以上ではなく 0 歳からでもきていただいておりますので、対象年齢については変えていただきたいと思います。
事務局	夏休みについても、毎週ということではよろしいでしょうか。
委員	夏休みは行っていません。幼稚園がやっている間は毎週行っています。
事務局	今のご指摘については訂正させていただきます。改めて各主管課でも確認し、さらに事業目標等含めて修正したものを、次回の会議でお示ししたいと思います。
委員	72 ページの 75 番、「地域の空き店舗等を活用した子育て支援事業」の中に「すみだ子どもサロン」とありますが、今のところ実施しますと書いてあるのはここだけです。これは増やそうとするアクションは起こしているのですか。居場所づくりというのは大事だと思います。もし他にも何か行うのであれば書いていただきたいと思います。 全体としての意見ですが、たくさんの方が行われていますが、普通の方々は知らないことばかりだと思います。ホームページを見ればわかるという話ではなく、民間レベルで発信していくことはできないかと思います。
事務局	75 番の事業について、今のところこの事業について新たに拡張するという考え方はありません。ただこの事業について、いろいろなご意見をいただいております。ひろば事業全体との兼ね合いもあり、この事業をどうするかということで庁内でも検討しております。今回の計画の中である程度お示しできればと思います。 また情報の周知につきましては、広報、各主管も情報発信の仕方等に関わってまいります。各主管課等に情報提供をさせていただければと思います。
委員	72 ページ、74 番「児童館の乳幼児事業」で、前のページをみると児童館は出ていません。これは書いていただいたほうがよいと思います。また、「対象ライフステージ」のところ

	すが、児童館には妊娠期のお母さん方もたくさんきております。「妊娠期」に「○」をつけてください。
事務局	主管課に伝えて修正をさせていただきます。
事務局	先ほどの75番の「すみだ子どもサロン」のお話ですが、我々としてもいただいた趣旨に沿った検討をしていきたいと思っております。最終的にはお金の関係もありますので、今すぐではないかもしれませんが検討していきたいと思っております。
委員	実績報告も含めているということであれば、70ページの71番「児童館での乳幼児一時預かり」というのは、件数を書くべきではないでしょうか。「6館で実施」ではなく、年間何件、延べ何時間預かったというように、ショートステイと同じ書き方にすべきではないかと思っております。 48ページ24番の「特色ある学校づくり」で、「研究発表会を実施し、周知しました」という記載の仕方はあまりにもお粗末ではないかと思っております。もう少し具体的に、どのような特色を持たせようとしているのか等付け加えたほうがよいのではないのでしょうか。
事務局	これは学校でテーマを決めて研究していただいております、その研究成果を発表してもらっています。おっしゃるとおりですので、記載については検討させていただきます。ありがとうございます。
事務局	事業の実績について、各主管に4月以降調査してもらったものを我々で取りまとめたものです。ご意見をいただいたところも含めて不十分な点もごございますので、改めてもう少し記載について工夫していきたいと思っております。
委員	私は児童館のことがよくわからなかったのですが、昨日ホームページで検索してみました。すべての児童館が、一時預かりの定員について書いていませんでした。その辺も検討していただければと思います。
事務局	検討させていただきます。
委員	54ページに、「朝食の摂食状況」が入っています。「中学生」「高校生」「大学生」しか入っていません。子育て会議なのになぜ「小学生」が入っていないのでしょうか。
事務局	ニーズ調査を反映させていただいております。前回の調査から、朝食の摂食状況について、中学生前のお子さんについて調査は未実施でございました。乳幼児等で、保護者の方から朝食の摂食状況については生活習慣等につながらない部分であり調査していなかったと考えております。そういったことから、今回小学生以下の部分も含めではないかと考えております。また中高生についての結果については、全国調査がございましたので、それと比較する部分ということで中学生、高校生、大学生と表記させていただいております。
事務局	小学生以下は保護者の回答であり、回答者が本人ではありません。回答者が本人ではないということでそのデータを取っていません。
委員	朝食を食べないというのは、学校にとって非常に大きな課題ですので、どこの小学校でもデータは取っていると思っております。中学校のほうも取っておりますので、区全体のものが出てくると思っております。ご検討ください。
委員	54ページの現状と課題のところ「朝食を毎日食べている青少年は」というように、あえて「朝食」という言葉を使っているのですが、それに対する事業はないのでしょうか。小中学校の食育の推進というところでお話をされているのかもしれませんが、現状と課題に対しての事業が少ないと感じます。

事務局	現状と課題については、これまでのニーズ調査を踏まえて修正させていただいております。今後もそういったところに応えられる事業を、新規の事業も含めて検討できれば盛り込むということも考えられますし、既存の事業の中を充実させて、そういったところを踏まえた内容にしていくという考え方もございます。今のご意見を反映できるよう検討させていただきます。
事務局	各学校で朝食の摂食状況を取っているということでしたが、それは実際に子どもに確認した数値なのですか。
委員	そうです。
委員	81 ページの 101 番「保育所等の福祉サービス第三者評価制度の推進」の実績は、なぜ平成 25 年度なのですか。うちの保育所では、平成 26 年度、28 年度も実施しています。
事務局	大変失礼しました。こちらは修正漏れでございます。平成 28 年度で修正します。
委員	56 ページの 42 番、「エイズ及び性感染症等の性教育」とありますが、実績のところ「職員の理解を深めるため、職員を対象に講演会を開催しました」となっています。職員というのは区の職員ですか。「子育て応援宣言」でなぜ職員に対するものになっているのかわかりません。これだけだと中途半端です。この後で、その方たちが学校について研修をしましたというのであればわかるのですが、職員に研修を受けさせて終わりではちょっとおかしいと思います。
事務局	主管課のほうに確認した上で、修正してお示ししたいと思います。
委員	40 番「健康と体力向上の推進」で、実績というのは体力テストを実施した結果を書くのではないのでしょうか。体力テストを行ったことが実績になるのでしょうか。
事務局	事業をどのように行ったのかというのが今回の実績ということで、各主管課に問い合わせました。実施の結果については、もう少しお示しできる内容のほうが他の事業との整合性がとれるということで、主管課との調整の上で修正できればさせていただきます。
委員	平成 28 年度の結果については、小学校、中学校もほぼ全国を上回っているというよい結果が出ているはずです。それがお示しできるのではないかと思います。
事務局	教育のところは文字が多いので、できるだけ数字を入れるようにします。
委員	114 ページの 163 番「地域子育て支援ネットワークの構築」で、これは会議などに毎年参加させていただいておりますが、大変よいことだと思っています。その参加者がそれぞれに行っている事業を知識として得られるというのはとても大事だと思います。さらに追加して考えるのであれば、ここに参加している構成員同士が個別具体的なお子さんの対応について細かく話せるようなものが醸成されることが望ましいと感じます。それを行うときに気になってくるのが守秘義務と、個人情報の問題です。正確に情報を共有しながら進めるということを行ってよいのかというところで、一步踏み込めないという事例も出てきています。そういったところが問題だと思います。それを解決するために、中核機関等に情報を一旦集めて、そこから情報をもろうという方法がコントロール機能も効くのでよいという議論もあると思います。そうしたときに、細かい話や虐待絡みでもないような話も含めて、特別な連携が必要な話というのは数多くありますので、その限界があると考えております。そういった意味では、先ほど申し上げた情報流通をどのメンバーに対してどの程度やっていくかという線引きを改めて行っていくことが、この子育て支援ネットワークを実のあるものにしていくことだと思います。ぜひ、その辺りの議論については、分科会等をつくってでも行っていただ

	ければと思います。
事務局	<p>お話はよくわかります。守秘義務等の関係で、要保護児童対策地域協議会の事務局が中心になり、虐待対応などに関係機関で情報を共有して行うことが必要になってきます。ネットワークの構築の関係メンバーに、個別ケース検討会議等に参加していただき、情報共有、役割分担をしております。ネットワークの構築という意味では、顔の見える関係、あるいは日頃の相談対応能力の向上というところで、今は行っていくところかと考えています。このネットワークは以前と比べて乳幼児の関係も入ってきているので、皆さんの考え方がずいぶん変わってきていると思っています。分科会というところでは、今後どのようにネットワークを進めていくかといったところを議論していくが必要になると思います。少し検討させていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>ネットワーク会議には校長先生や児童相談所の方も出ていますが、それぞれの校長先生、それぞれの児童相談所のケースワーカーに話が伝わっていることが少なく、意外と話にならない場合が多いという気がします。最終的には、個別の実態をわかっている方と話ができるというように持っていかないと話ができません。</p> <p>守秘義務の話では、要保護児童対策地域協議会は罰金 100 万円、懲役といった罰則があるから話せるのかという捉え方をするのであれば、情報流通をする方にも一定程度の罰則をつけながら話すという方法もあるかと思います。そういったところも併せてご検討いただきたいと思っています。</p>
会長	<p>前に乳幼児のところでのこのことを話したときに、公立幼稚園さんで0、1歳児のところからの相談を含めての対応など、広く行っているということでした。割と福祉ベースであったりします。実はみんないろいろなところでやっているのだという話もありました。そういったことも含めて、どのようにこれがつながっていくのか、そういったことのお話も伺いながら行いたいと思います。そうすると数が多いのでなかなか難しいとは思いますが、どのように情報を共有してよいのか、先ほどおっしゃられた顔の見える関係も大事なことだと思います。</p>
委員	<p>「支援を凶りました」「周知しました」「実施しました」とあるのですが、具体的な内容をポンと押したらみえるようになったよと思いました。</p>
会長	<p>見せ方の問題の工夫ができるのではないかとことです。</p>
委員	<p>「周知します」と書いてあると、周知されていないのだなと思います。お手紙で配布しましたというようになっていても、お手紙をゆっくりみる時間もなかったりします。お手間になってしまうのは重々承知しているのですが、ペーパーレス化していただけると、ゆっくり考えることができるのでないかと思いました。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。情報発信の仕方の部分だと思います。ホームページ等を工夫して、検索のしやすさ、情報のアクセスのしやすさ、また私どもで作成している子育てアプリなどの使い勝手の改良など、そういったことも踏まえてご意見に応えられるような形で検討をしたいと思っています。</p>
会長	<p>今アプリのことにつなげていただきましたが、役所ベースの発信というのはどうしても制限がかかったりするのでなかなか親のところに届きにくいということがあります。当事者目線をどう考えていくかということは重要なテーマだと思います。</p>
委員	<p>124 ページの事業目標のところを確認です。上から 4 行目「平成 27 年度から」という表</p>

	記になっていますが、よろしいですか。
事務局	こちらの表記は現状としては正しくありません。内容を確認した上で修正したいと思えます。
委員	認識としては、平成 28、29 年度からになるのですか。これからこうしていきますということですね。
事務局	おそらく、これは平成 27 年度からリニューアルしたというところと、今後情報提供のさらに充実していくというところは別だと思えます。そこを確認した上で、もう少しわかりやすい記載にしたいと思えます。
会長	たくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。事務局はこれから大変な作業があると思えますが、よろしく願いいたします。次の会議で、反映された状況を確認しながらご意見をいただきたいと思えます。
事務局	量は多いですが、お持ち帰りいただいて内容を確認された上でご意見等ございましたら、来週の末ぐらいまでにいただければ反映できるかと思えますので、よろしく願いいたします。

(2)その他

会長	その他について、何か事務局からはありますか。
事務局	(資料 4 について説明)
委員	そらまめ保育園すみだ横川第二ですが、5 階建ての 1 階から 5 階部分が保育所になっています。何歳児が何階という内訳はわかりますか。
事務局	今は手元に資料はございません。
委員	30 人が上から避難するのは大変だろうと思えます。階段は広いのか、保育士は足りるのかと思えました。
事務局	階段の広さ、保育士の数というのは、東京都の基準を満たしていますので、報告資料等しっかりしていきたいと思えます。
委員	今日もお母さんとお話をしましたが、4 か月の子どもが保育園で熱を出したそうです。そのお母さんに 1 歳まで育児休暇は取れないのかと聞くと、取れますと答えられました。でも来年は入れるかどうかわからないので 3 か月で入れましたということです。これは何とかならないのでしょうか。0 歳児の 17 人といたった枠を、例えば 0 歳児クラスだけれど 1 歳になってから入れる枠を何人にするかといったようになれば、もう少し育休をちゃんと取れるのではないかと思っています。0 歳からどうしても入れたい人もいるとは思いますが、もう少し何とかならないかと思えます。
事務局	ご意見ありがとうございます。1 歳で入れないので 0 歳児で預けざるを得ないという親御さんがいらっしゃるというのは確認しています。1 歳児の定員を増やしながら、また計画の中でもワーク・ライフ・バランスとして子育てに適した環境をつくっていただけるように努力したいと思います。現状では 0 歳児のニーズもあるということで、こういった形にさせていただいております。今後ご意見を踏まえ、よりよい環境整備を図ってきたいと思います。
委員	もう一つ現場からの意見です。保育園では 0 歳の離乳食はやっていないですよ。家で食べさせないと保育園では食べさせられないので、ずっと食べられない子どもがたくさんいます。例えばお休みの日に食べさせるとか、夜に新しいものを食べさせるというのは医者の方

	場からいうととても危険なことです。その辺も含めて考えていただけると助かります。
事務局	そういったご意見も踏まえて考えたいと思います。
会長	ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。

3 次回開催予定

会長	次回の開催予定について、お願いします。
事務局	次回開催予定 日時：7月31日（月）午後6時30分

4 閉会

会長	これをもちまして、全体会のほうはこれで閉会させていただきます。ありがとうございました。
----	---

以上